

# 平成20年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け			1次 評価者 (主に当該 施策を担当 する部長)	所属	教育委員会生涯学習部
めざすまちのテーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち			職名	部長
施策項目	(1)生涯学習の推進	施策コード		氏名	飯尾 徹
		501		TEL	72-3170

## 1 施策の目的

だれもが自由に学習機会を選択しながら、生涯にわたって学び続けられる環境を整え、自己実現を図りながら充実した人生を送ることができるまちをめざす。

## 2 現状

社会・経済情勢が急速に変化する中で、市民の学習ニーズはますます多様化、高度化してきており、こうした状況への対応が求められている。また、市民一人ひとりが自発的に学習活動を行い、その成果が適切に評価され、地域社会の発展に活かされるまちづくりの一環としての学習環境づくりが求められている。特に、「プログラムバンク登録数」が33%と低い状況であり、今後この活用などのあり方を検討する必要がある。

## 3 成果指標

	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	図書館登録者数					人	36,596	53,000
指標2	普段から自主的に学習している市民の割合					%	33.4	50.0
指標3	プログラムバンク登録数					件	33	100
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	達成度: H19実績値 / H23目標値	参考: H19実績値 / H17実績値	
指標1	40,071	43,335				81.8%	118.4%	
指標2	40.7	38.6				77.2%	115.6%	
指標3	33	33				33.0%	100.0%	
指標4								

## 4 1次評価(部長評価)

(1)成果指標の目標値の達成状況とその要因分析	
【指標1】については、増加傾向にあり、図書館が市民の生活に密着しつつあると考える。 【指標2】については、前年度比較でほぼ横ばい傾向であるが、市民の学習意欲は高まってきていると考える。 【指標3】については、ここ数年間動きがない。活用、登録に対するPR不足と市民ニーズの変化によるものと考えられる。	
(2)目標値の将来の達成度の見込み	
成果指標のうち、普段から自主的に学習している市民の割合及び図書館登録者数については、順調に推移しており、目標値の達成は可能と考える。また、プログラムバンク登録者数は、横ばい傾向であり、目標値の達成は難しい状況にあると考える。	
(3)今後の課題	
市内では、現在官民合わせて年間300を超える生涯学習講座が開催されており、プログラムバンク制度が制定された7年前の状況からは大きく変化しており、こうした点も、登録者数が伸び悩み、その活用が低迷している一因と考えられることから、この制度がより有効な制度となるよう、何らかの対応が必要な時期にきていると考える。また、新たな生涯学習システム、図書機能の検討が必要と考える。	
(4)注力と今後の取り組み方針	
注力	今後の取り組み方針 現在、石狩市における学びの環境をさらに充実させるため、「石狩市の新たな生涯学習システム」を検討しており、この中で、市民組織の「いしかり学びをつくる会」との協働により、このシステムの構築に向けた取り組みを進めるとともに、課題となっているプログラムバンク制度のあり方についても、この中で検討を行う。また、教育プランが21年度で終了することから、その策定に向け準備に取組むとともに、市民図書館については、単なる読書機能だけでなく、情報発信の場など、新たな図書館機能の構築に向け、検討を進める。
:これまで以上に力を注ぐ :これまでどおり力を注ぐ :これまでのようには力を注がない	
(5)関連する事務事業のあり方	
関連する事務事業の成果指標については、概ね、横ばい又は増加傾向にあり、今後もこれらの事務事業について、一部見直しを含め、継続して実施していく。	



ここまで1次評価者が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

## 5 中間報告に対する主な市民意見

なし

## 6 最終評価（石狩市行政評価委員会評価）

### (1) 観点別評価

評価項目		評価
達成度	成果指標の目標の達成(進捗)状況	B
有効性	施策に関連する事業の有効度	B
効率性	費用対効果	B
妥当性	施策の取り組み姿勢	B
総合評価		B

評価基準			
A	B	C	D
極めて高い (極めて順調)	高い (概ね順調)	低い (余り順調でない)	極めて低い (順調でない)
極めて高い	高い	低い	極めて低い
極めて高い	高い	低い	極めて低い
極めて高い	高い	低い	極めて低い
極めて良好	良好	良好と言い難い	問題がある

### (2) 今後の方向性に関する委員会意見

本格的に高齢社会を迎える石狩市にとって、「生涯学習し続ける市民」を益々増やし、その「学習」を「まちづくり」につなげることは重要である。高齢者施策、子育て支援策など他部局にも類似事務事業があるので、石狩市全体としてそれらの事業との連携を保ちながら、効果性の高い事業展開を期待したい。また、「市民との協働」の視点から見ると、この施策には『学びのスタンプ』にみられるように既にその活動が始まっている。今後は益々『協働』体制を強めながら事業を企画、実施すべきである。

### (3) 施策等に関する評価意見

#### (施策)

「達成度」については総合計画に掲げられている目標に対し、概ね順調に推移していることから「B」、市内各所に配置された生涯学習施設、図書館などでの活動が活発に行われていることから「有効性」は「B」、市長部局と類似した事業があるなど若干検討すべき点はあるが、「効率性」は「B」、施策の取り組み姿勢を評価する「妥当性」は「B」とした。結果、施策全体に対する総合評価として「B」と評価した。

『学びのスタンプ』事業を始めたことによって、民間で行われている各種講座を含め、石狩市内で開かれている講座の全体が明らかになり、市が取り組むべき講座が明確になりつつあることは望ましいことである。現在は主に公民館を中心に各種講座が開かれているが、公民館は施設として老朽化していることから『生涯学習センター』的な施設を早期に検討していただきたい。

#### (事業)

##### 学習情報の提供

- ・「地域教育通信」については、周知方法を検討して欲しい。またこの事業の「効果」を検証すべきである。

##### 学習機会の整備

- ・「読書・学習支援」の成果指標に研修室などを含めた、図書館を利用する総ての人数をあげるべきである。
- ・「生涯学習推進事業」の中の『プログラムバンク』事業は社会状況の変化に伴い最早、十分に機能しなくなっているようである。『学びのスタンプ』事業、その他の生涯教育事業との調整をしながら、再検討すべき時期と考える。
- ・「厚田、浜益地区の生涯教育事業」については地域性の事情から、今後とも高齢者施策、子育て支援などと併せて「複合型事業」として推進を図るべきである。
- ・「生涯学習講座(旧公民館講座)」は活発に行われているが、今後はますます市民との連携を強くすべきである。また、前記の『生涯学習推進事業』との一本化の可能性も検討すべきである。

- ・「子供の読書推進事業」の中の学校図書室整備に関する成果指標を設定すべきである。

##### 学習施設の内容の充実

- ・「図書館運営」は市民が学習を続けるための重要な事業であるが、予算が削減されるなかで工夫をしながら良く運営されている。